

# 2025年度 犯罪被害について考える講演会

## 無理しない 当事者活動とその支援



「咲き誇る」 by リーナ  
©2025 STAND Still Tokyo  
All Rights Reserved

10月18日(土)  
13:30～16:00  
帝京平成大学  
中野キャンパス  
2階 225室  
定員 100名  
無料 要申込

同時開催

STAND Still  
性暴力サバイバー  
ビジュアルボイス  
写真展

プログラムスケジュールは裏面をご覧ください

講師 大藪順子(おおやぶのぶこ)氏

フォトジャーナリスト。米国シカゴのコロンビア大学フォトジャーナリズム科卒業後、米国の新聞社で専属写真家として勤務しフリーに。自身の性被害体験からアメリカ、カナダ、日本で約100人のサバイバーを取材撮影し2001年「STAND: 性暴力サバイバー達」を発表。このプロジェクトが米国でテレビドキュメンタリーとなった後、全米と日本各地で展覧会と講演会を展開する。2019年より性暴力サバイバーが撮る側に立つプロジェクト「STAND Stillー性暴力サバイバービジュアルボイス」を開始。#MeTooと言えない・言わないサバイバーの安全な表現の場を提供する。米報道写真協会より数々受賞他、2002年「ワシントンDC ビジヨナリーアワード」、2008年「やよりジャーナリスト賞」、2011年母校より「卒業生賞」受賞。著書『STAND-立ち上がる選択』2007年フォレストブックス、共著『マスコミ・セクハラ白書』2020年文藝春秋、監修『KOKO 横浜ー「外国につながる」ではひとくくりにはできない中高生の作品集』2021年明石書店、写真集『その後佇んで、見えたもの』2024年STAND Still。



参加申込受付

2025年9月22日(月)～10月15日(水)  
QRコード、電話、FAXから

<http://logoform.jp/f/3tS41>

電話: 03-3228-5713  
FAX: 03-3228-5662



※一時保育、手話通訳のご希望の方は10月8日(水)までにお申し込みください。お申込みの際、手話通訳を希望される方は、「手話通訳希望」とお伝えください。保育希望の方は、お預かりするお子さまの人数、月齢、住所をお伺います。

共催 中野区・帝京平成大学・中野区社会福祉協議会

## 2025年度 犯罪被害について考える講演会 プログラム

- 13:00 開場
- 13:30 開催挨拶、オリエンテーション
- 13:35 講演 「無理しない当事者活動とその支援」  
フォトジャーナリスト 大藪順子氏
- 14:45 ミニ講義1 「トラウマインフォームドケアについて」  
帝京平成大学人文社会学部 教授 大塚 淳子
- 15:15 ミニ講義2 「中野区の犯罪被害者等相談支援」  
中野区犯罪被害者等相談支援員 稲吉 久乃
- 15:45 質疑応答
- 16:00 終了

### 【同時開催】

## STAND Still-性暴力サバイバービジュアルボイス写真展



### STAND Still プロジェクトについて

MeToo運動で見えたMeTooと言えない・言わない人たちにも安全に表現できる場をと2019年大藪順子氏が開始。サバイバーがニュースの被写体になるのではなく写す側に立つことで、被害者の視点を可視化し、社会的ナラティブの転換を試みる。そして、サバイバーという肩書きの向こうにいる個に目を向けてもらえたらと願う。

### 団体STAND Still 東京について

2019年初回プロジェクト参加者が団体STAND Stillを設立。参加者の多くが東京から横浜に通っていたことを受け、都内での活動のためにSTAND Still東京を立ち上げた。性暴力サバイバーにとって安全とは言い難いこの社会で、安全に自由に表現できる場を提供し、写真表現でエンパワメントを促すワークショップや展覧会を企画・運営する。

### 【同時開催】

- ・被害者支援都民センターパネル展
- ・中野区情報コーナー



### 【帝京平成大学アクセス】

下記URLまたはQRコードから  
[https://www.thu.ac.jp/access/access\\_nakano](https://www.thu.ac.jp/access/access_nakano)

東京都中野区中野4-21-2  
JR中野駅北口から徒歩9分

